

Be Proactive!

このたびの熊本地震により尊い命を失われた皆様に、謹んで哀悼の意を表します。また、ご遺族の皆様に心よりお悔やみ申し上げます。追い打ちをかけるように、被災地は40度にも達する酷暑が続いていると聞いております。被災されたすべての方々が一日も早く平穏な生活を取り戻されますことをお祈り申し上げます。

暑中お見舞い申し上げます



夏休みが始まり、早2週が経過しました。本校は現在、各教室の窓枠交換工事のためご不便をおかけしましたが、保護者の皆様には、猛暑の中、三者面談にご協力をいただき誠にありがとうございました。熊本の地震では、甚大な被害が出ております。被災地に親戚がいらっしゃるご家庭もあるのではと心配しております。これだけ災害の多い国であるにもかかわらず、想定外の被害が出るたびに、自分たちの無力さを痛感させられます。自分にはできないことはないだろうかと考えています。

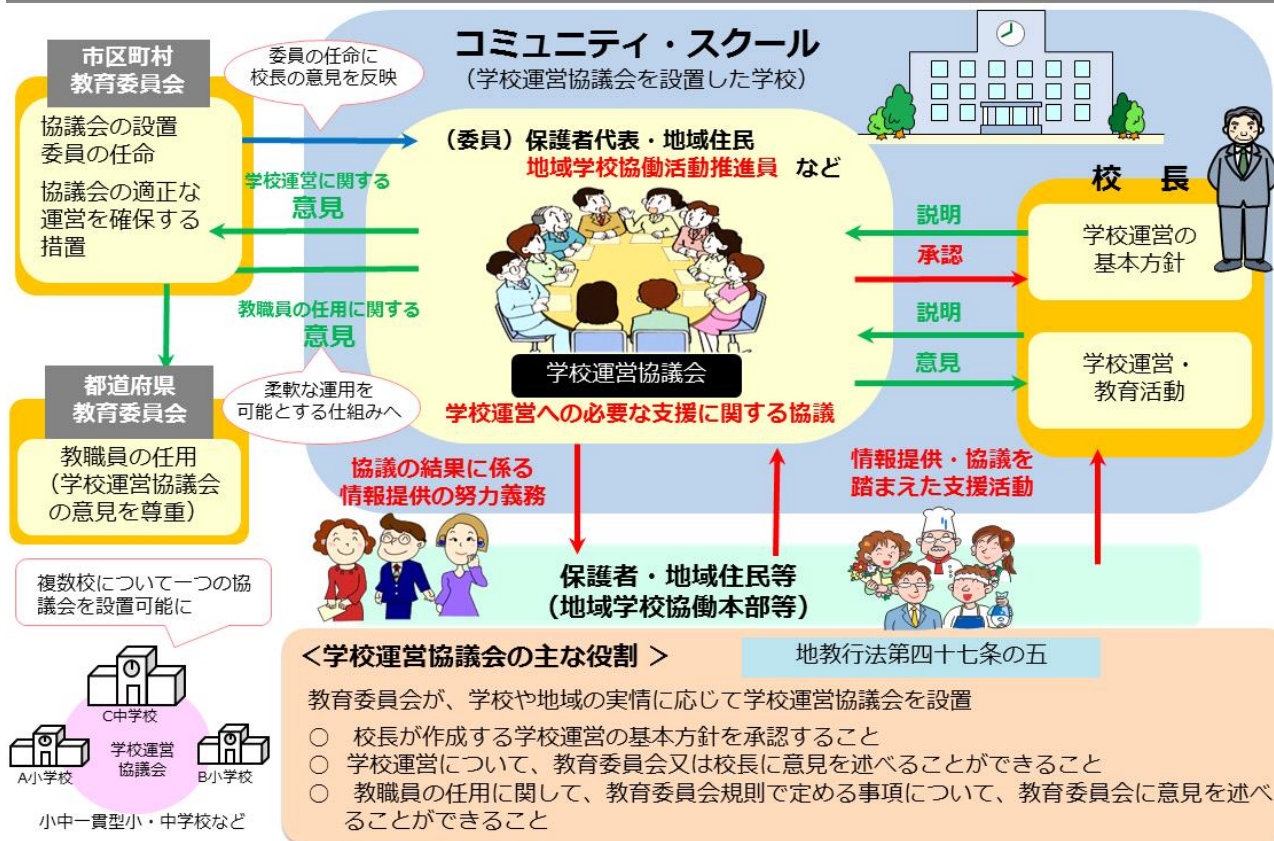
熊本は10年前にも大地震を経験しています。その時被災された経験から、住民の各町会や自治会への参加率が100%に近くなったという話を聞きました。大きな災害に対して、住民がお互いに助け合うことの重要性を知ったからだそうです。墨田区は、東京の中でもまれに見る、地域のつながりがしっかり保たれているところです。いざというとき、地域のつながりが大きな力となります。学校は、そのつながりを支える場でもありますので、その責任の大きさに襟元をただす気持ちでおります。

寺中はコミュニティ・スクールになります

令和8年度より、寺島中学校は国型の「コミュニティ・スクール」になります。これまで学校は地域の中にありながら、地域から完全に独立した存在としてありました。「コミュニティ・スクール」は、「地域の中の学校」「地域の学校」という在り方をめざすものです。地域の中で、地域住民や学識経験者からなる「学校運営協議会」を設置し、この協議会が、地域の子供をどのように育てていくのかを考えて、校長とともに学校経営の責任を担います。校長は、これまで以上に地域の声を大切にし、経営方針案を作成し、学校運営協議会に信任をうけ、学校経営を行います。

寺島中学校も、令和8年10月よりコミュニティ・スクールに生まれ変わります。現在、学校運営協議会の委員を引き受けていただける方々を募り、教育委員会への推薦者を決定する準備を進めております。(ちなみに、学校運営協議会は、これまで学校を支えていただいているPTA顧問や町会の代表等地域住民・保護者代表・学校運営に携わる者、及び校長・学校職員等で構成されることになっています。)これからも、地域の学校として、これまで以上に保護者や地域の皆様の声を大事にした学校教育を進めてまいります。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



文部科学省ホームページ「『コミュニティ・スクール』について」より

墨田区中学生海外派遣

今年も墨田区立中学校代表の2年生が、7月27日よりオーストラリア・シドニー周辺へと派遣されています。本校からはM.K.さんとS.K.さんが代表として参加しています。

27日の午後4時30分から区役所の会議室で行われた出発式では、山本亨区長を始め、多くのご来賓の皆様が代表派遣生の激励のために集まってくださいました。派遣団員の中学生は、出発前で緊張気味でしたが、保護者や家族の見送りを受け、元気に出発しました。

現地では、それぞれホームステイをしながら、4日間、男子はBalgowlah Boys Campusに、女子はMackellar Girls Campusという学校に通い、バディ（学校でのパートナー）と一緒に様々な体験をし、週末はホストファミリーと過ごしました。今日3日で、8日目を迎え、オーストラリア滞在もあと1日となりました。

派遣生たちは帰国後も、研修は続き、報告会に向けての準備を行います。本校でも、秋の舞台発表会で二人からの報告を行う予定です。帰国は5日の予定です。無事に帰国することを祈ります。



27日出発式にて